

山行番 NO. 1604 (8月度さわやかハイキング)  
日時 2014. 8. 24日(日) 薄曇り・曇り・晴れ  
山域 御坂・十二ヶ岳(最高峰=鬼ヶ岳1738m)  
コース H車・三島発4:45、G車・下土狩駅発5:00—東名入口で合流—(新東名・西富士経由)—根場でH車デポ—西湖文化洞トンネル着6:30—登山開始6:50—毛無山8:15—十二ヶ岳9:50—金山10:40—節刀ヶ岳11:00～11:50—鬼ヶ岳12:25  
(鍵掛峠隊4名)—鍵掛峠13:15—根場14:15  
(雪頭ヶ岳隊8名)—雪頭ヶ岳12:45—根場14:20  
入浴・天母の湯—下土狩(反省会)  
標高差 上り 文化洞トンネル約925m～毛無山約1500m=約575m  
(その後、上り下り多い)  
下り 鬼ヶ岳1738m～根場約900m=約838m  
参加者 G車=後藤(CL)、掛橋、室伏、長谷、勝又薫、川辺(ゲスト)、小松  
H車=浜道(会計)、水落、井上、峰田、千葉 合計12名  
参加費 2300—

この朝、富士山は頂上まで望めたものの高層の空は白い薄雲に覆われていた。4:45 三島祇園橋でH道さんに拾っていただき、その後M田さん、I上さん、M落さんの順にピックアップして新東名入口で待機、3分と待たずにG車が合流して高速へ、新東名から西富士道路を経由して西湖へ向かう。途中の車窓から望む富士山には笠雲？がまわりついて頂上は隠れてしまった。根場(ねんば)の無料駐車場にH車をデポしてから西湖の湖畔を進んで文化洞トンネルを抜ければ登山口6:40到着、ところがいつもの空き地が駐車禁止になっていたためバス停脇の空きスペースを拝借する。ゲストのK辺さんを中心に皆さん自己紹介してから役割分担指名、今日の先鋒はI上さん、しんがりはK橋さん、無線訓練を兼ねているのでお二人が無線機を携帯、報告書はT葉。

【登山口→毛無山】登山口6:50出発は予定より40分早い。左にトンネル遺構や慰霊塔などを見ながら進む。取り付きはスパッツが必要かと思うほど湿っぽい登山道だったが尾根に達すると乾いて快適、概ね中斜面の登山道は松などの針葉樹が中心で所々に怪しいキノコが生えている、だけど肝心のタマゴダケはさっぱり見あたらない。7:29頃1241.5mピーク付近を通過してから僅かに下る、このぐらいまで高度を上げると針葉樹よりも広葉樹が多くなってくる。この辺りから斜度が緩んだような気がした、7:49 広めの場所で休憩をとる。山頂に近付くと九十九折になって視界が開ける、これまで樹林に覆われて眺望がさっぱりだったけれど、ここで富士山、西湖、河口湖、山中湖を見渡すと隊員から歓喜の声、そこからほどなくして毛無山8:15到着、山頂からの景色も素晴らしく富士山頂の雲は取れかかっていた。ちなみにこちらは御坂山地の毛無山で標高1500m、朝霧高原から望む天子山地の毛無山は1945.5m。

【毛無山→十二ヶ岳】 ここからは小さなアップダウンを繰り返しながらの稜線歩き、徐々に岩場が現れてロープも登場、5分おきぐらいに迎える小ピークには一ヶ岳、二ヶ岳・・・と名前が記された標識が立っている、足元ばかりに注意していると気付かずに通過してしまうこともしばしば、四ヶ岳からの景色が素晴らしくて集合写真をパシャリ、富士山はすっかり雲が取れて山頂まで望めるようになった。さらに前進、“八ヶ岳”には誰もツッコミを入れたと思う、十ヶ岳のピークを大きく巻いてから岩場を登って十一ヶ岳へ、そこから吊り橋へと下る岩場がいよいよ難所であり順番待ちで渋滞、岩上で待機することになる。不思議なことに上で待っていると先に降りた隊員の会話がやけにクリアに聞こえる、声が谷間に反響して増幅されるのかもしれない。岩場でもたもたしていると下で待つ隊員から様々な指導とツッコミを浴びせられる。谷間に掛かる吊り橋を渡るといよいよ十二ヶ岳へ向かう岩場に取り付くことになる、ここでは落石に注意、下の隊員に落とさないように気を付けながら上からの落石にも注意を払う、実際小石程度の落石は頻繁にあり、自分は意識的に時間差を設けながら登った。そのうち先鋒隊のほうから「ヨーロレイヒ〜！」のデカイ声が三回ほど・・・谷間に響き渡ります、さて誰のかけ声でしょう？桑留尾分岐を過ぎて間もなく目標の十二ヶ岳に 9:50 到着！これも富士山の眺望が素晴らしくて記念の集合写真を撮影する。

【十二ヶ岳→節刀ヶ岳】 十二ヶ岳を出発してすぐの岩場もなかなかの難所、各隊員は間隔を置いて慎重に下降する。次の岩場へ向かう途中でメンバーがつかずいて登山道を外すアクシデント、怪我が無くて本当によかったです。明日は我が身、より足元に注意を払おうと思います、とはいえ下ばかり見ていると木に頭をぶつけることも多く、今回も二度ぐらいぶつきました。最後の岩場では梯子も登場、岩上に這い上がると富士山と西湖の展望が再び開ける、ここで本日の難所は終了となった。そこから暫く樹林帯を歩けば展望の無い金山 1686m に 10:40 到着、予定より 20 分早いので予定を変更して展望の良い節刀ヶ岳 1736.4m へ移動、11:00 に到着、ここでお昼の大休止です。さて楽しい昼食は皆さんにごちそうになるばかり、砂肝焼き、辛味ナス炒め、夏みかん、ポテトサラダ、ゆで卵、キュウリ漬、ゆで落花生、自家製梅干し、自家製ゼリー、何も持ってきていない自分は頂くばかりで申し訳ありません。今回は難所の多い十二ヶ岳ということでビールも持って行きませんでした、1本ぐらいは OK だったかなあと後悔しました。

【節刀ヶ岳→鬼ヶ岳】 11:50 昼食を終えて鬼ヶ岳へ出発する頃には眼下 360 度にガスがかかって眺望がない。でも稜線まではガスが上がっていないので登山道の視界は良好、たまに稜線を横切る薄いガスをくぐれば涼しさを感じる。途中、紛失した K 又さんのサンバイザーが見つかって良かった。難なく鬼ヶ岳 12:25 到着、G 藤リーダーから「行きたい人は鍵掛峠経由で下山」との提案、自分は鍵掛峠のさらに先の王岳まで縦走したことがあるのでどちらでもよかったが K 橋さんが行ってみたいとのこと、それなら自分も行くことに、さらに K 辺さんと K 松さんが加わり 4 人で鍵掛峠を目指す。本隊 8 人は予定通り雪頭ヶ岳経由で根場へ向かう。

【鬼ヶ岳→鍵掛峠→根場】 自分が道を間違えて大岩の上へ到達、幸いなことに展望が素晴らしい、このときにはガスが取れて富士山から甲府盆地まで 360 度見渡すことができた。鍵掛峠までの縦走路、ささやかなアップダウンはさておき登山道がブッシュに覆われている

ところが鬼ヶ岳までの稜線と異なるところ、足元をよく確認しないと大変危険、とりわけ南側はキレ落ちているので慎重に足を置く。暑いけれど相変わらず高層の空は薄雲に覆われているので日差しは無くて快適なほうだろう。鍵掛峠 13:15 到着、K 橋さんが無線で現在位置の連絡を入れます。峠直下の展望台はブッシュに覆われていてこの時期はお勧めできない、ここで休憩をとるべきだったが勢いのまま下山スタートしてしまいごめんなさい。鍵掛峠から下山道は一ヶ所だけ崩れて幅が狭くなっている場所があったが、その後は歩きやすい緩斜面の九十九折、ブナの原生林の中を通る。林道に出るとゴールまであと 15 分、途中で澄んだ沢の水を見ると皆さん思わず手にとって洗顔、冷たくて気持ちいい！それから有料のいやしの郷を敬遠して西側の舗装路を下る、根場の無料駐車場に 14:15 無事到着、すぐに本隊も到着、このころには青空もみえるようになっていた。本隊メンバーの話によれば雪頭ヶ岳への上り返しがかなりキツかったとのこと、鍵掛峠のほうがコースタイムは長いけれど足には優しいのかもしれない。G 藤リーダーと H 道さんは早めに下山して文化洞トンネルへ車の回収に向かっていた。

本日すれ違った登山者は単独トレラン男性、男性2人組、男女ペアの合計 5 名、静かな十二ヶ岳でした。根場の駐車場 14:45 出発、お風呂は天母の湯、夕方から下土狩で反省会でした。皆さん楽しい一日、どうもありがとうございました。



バックは十二ヶ岳



右下は西湖







